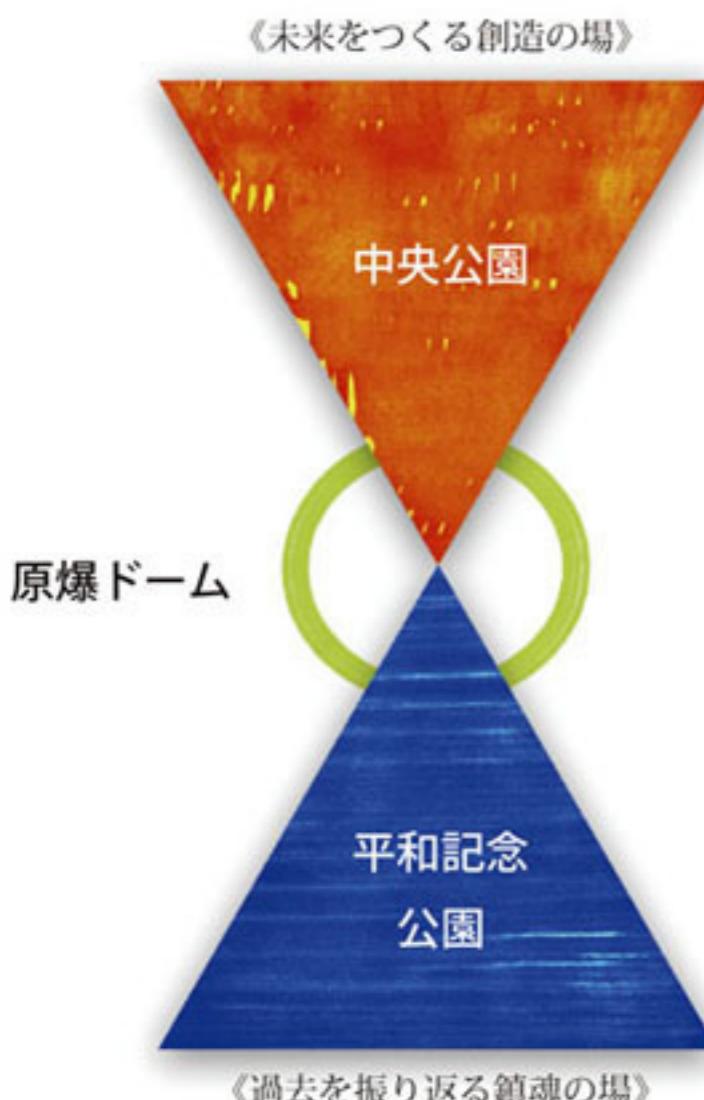


広島 Presents.



コンセプトイメージ

中央公園が若者を育て、公園自体も若者に育てられる、
2045 年に向けて、共に成長する中央公園。
その中核となる《芸術創造機能》の創出。

この提案は、球場跡地に「芸術創造機能に特化した場」を創出することです。
ここでは「つくる・ためす」空間を、若者をはじめ様々な方に提供します。
広島が、原爆投下によって失ったものは計りしえませんが、しかし人は、「つくること」で、失ったものの代わりになるものを得てきました。
一方で、つくることは、ためすことであり、失敗することです。「芸術創造機能」とは、
未来を担う若者と、歴史に学ぼうとする来訪者に、様々な芸術創作活動を通じて、
新しい何かを、「手探りでつくりあげる方法」を伝えることで準備されます。
こうして若者を育て、ひいては、広島を育むことで、広島が世界に向けて素晴らしい
プレゼントをすることができるようになると考えています。

❶ 都市全体での都市機能の分担

- 1) 都心にふさわしい都市機能
- 2) 西飛行場跡地、広島大学本部跡地、二葉の里地区との分担

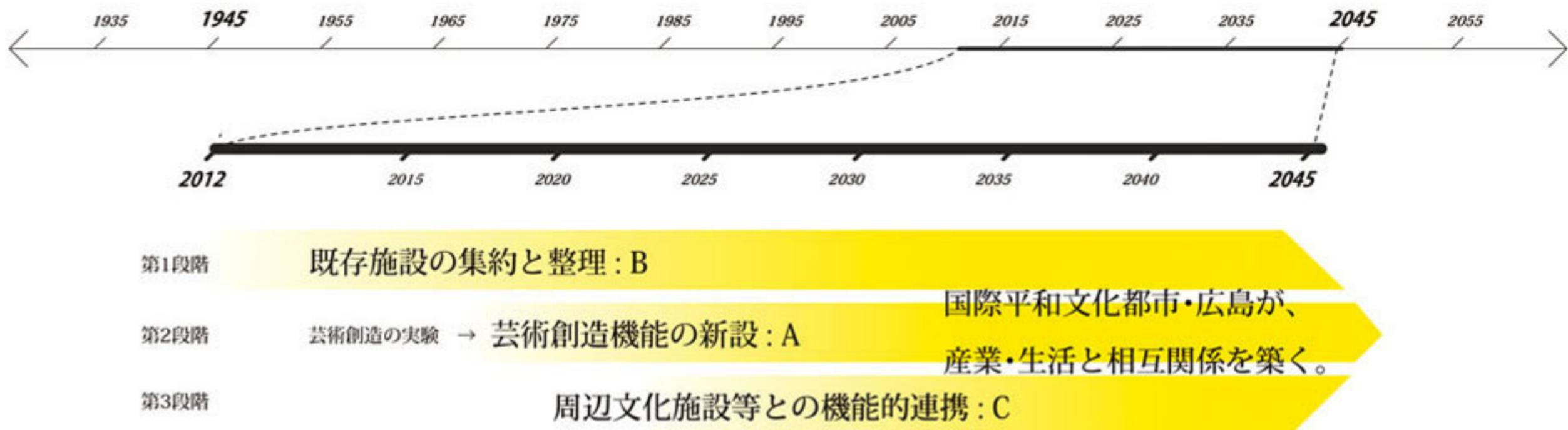
❷ 良好的な都市景観の形成

- 1) 原爆ドームの存在意義
- 2) 周辺地域への景観的寄与
- 3) 丹下健三の都市軸の活用

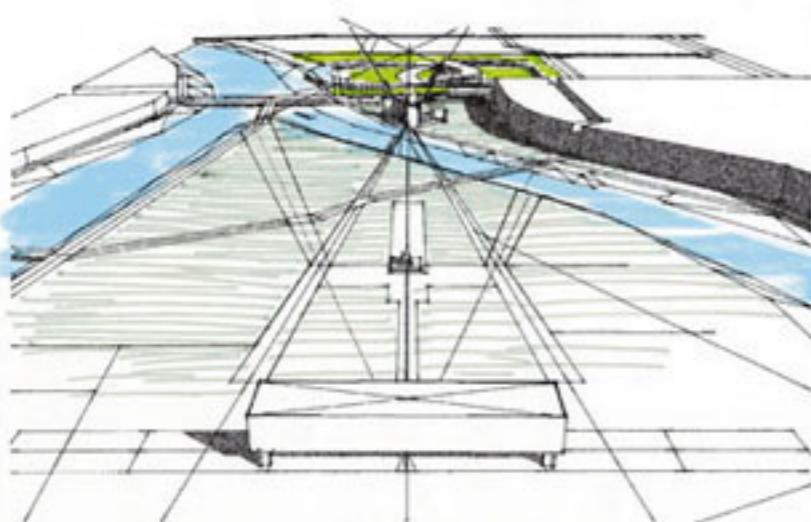


- ❶ にぎわいの創出
1) 休日だけでなく常時のにぎわい
2) 子ども、家族、多様な世代

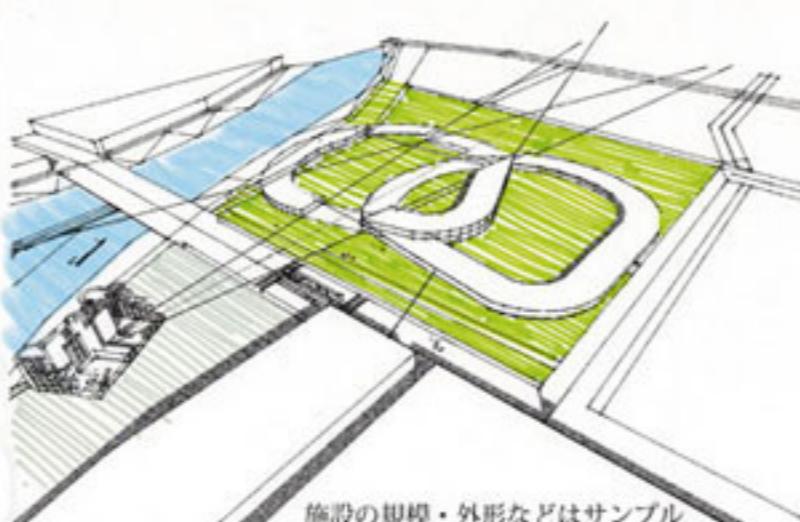
変遷の過程



変遷過程の景観サンプル



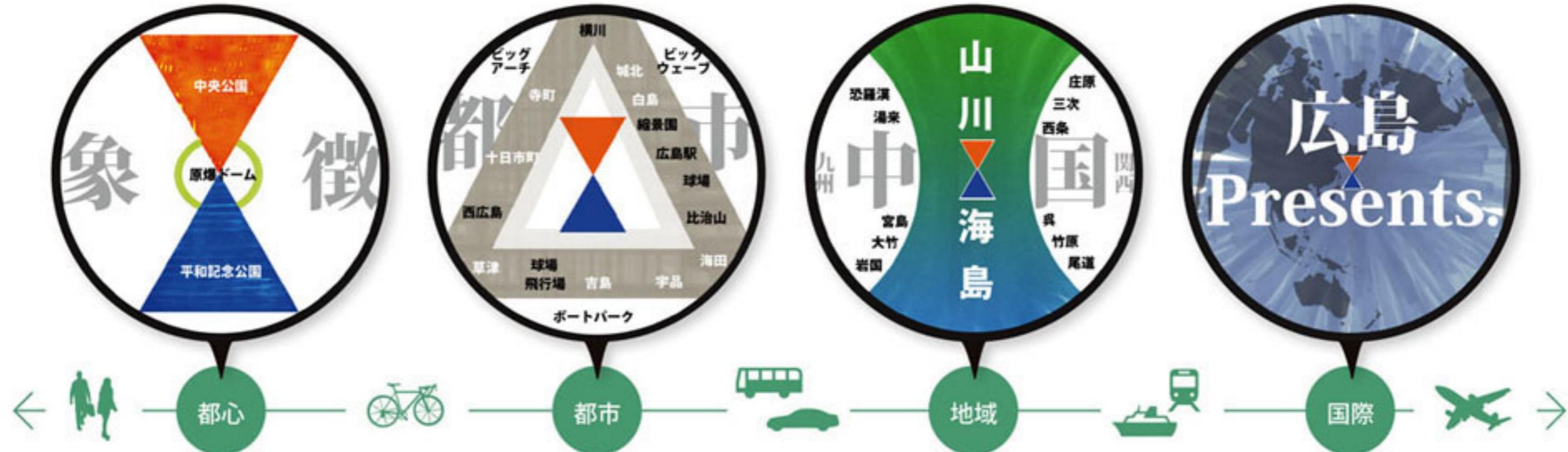
平和記念公園側から「北」を眺める。
ドームの奥に位置する中央公園の様子は植栽などで隠す。



球場跡地俯瞰イメージ。ドーム周辺から、施設等の様子が
見えることで、観光ルートを延長することが可能。



中央公園側から「南」を眺める。
平和記念公園にならい、軸線上の視界を確保する。



シンプルで強いメッセージ
を訴えかける機能配置

- 観光客の動線延長(回遊性演出):
平和記念公園～資料館～慰靈碑～
原爆ドーム～芸術創造機能・図書館
～川
- 機能集約による施設利用率の向上:
中央図書館・こども図書館などの
集約により施設の連続的利用を
可能にする。

市内各施設・関連機能を
公共交通網でつなぐ

ホール、展示会場などの会場は市
内各所にあるので、重複を避け、
連携による相互利用を促進する
ために、原則としてつくらない。
または、当初計画には盛り込まな
い。

県内各地域の産業・
観光資源との連携

商品・技術開発、デザイン、プラン
ド戦略などを実験する人にもこ
の環境の利用を促し、地元企業な
どとの連携によって、広島市内と
県下及び近隣地域との連携を行
う。

国際平和都市広島の実現・認知
一般観光客の増加につなぐ

広島は、海外での認知度も高く観光地として
注目されている。平和記念資料館・原爆ドー
ム、そして宮島が有名であるが、これらと対
比させる、現代的で未来志向の空間があれ
ば、広島の過去・現在・未来の姿を強く演出す
ることが可能になる。

- 国内外からの集客見込み
 - 1) 国内からの集客
 - 2) 国外からの集客

- 周辺地域との連携による相乗効果
 - 1) 中央公園の既存施設との連携
 - 2) 地下街シャレオなど周辺地域との連携
 - 3) 広島駅周辺地区（もう一つの都心核）との連携

文化

(2288頁)

ぶんか [文化] ①文徳で民を教化すること。②世の中が開けて生活が便利になること。文明開化。③(culture) 人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果。衣食住をはじめ技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治など生活形成の様式と内容とを含む。文明とほぼ同義に用いられることが多いが、西洋では人間の精神的生活にかかるものを文化と呼び、文明と区別する。

↑自然。↓文明。

芸術

(789頁)

げいじゅつ [芸術] ①〔後漢書孝安帝紀〕技芸と学術。(art) 一定の材料・技巧・様式などによる美の創作・表現。造形芸術(彫刻・絵画・建築など)・表情芸術(舞蹈・演劇など)・音響芸術(音楽)・言語芸術(詩・小説・戯曲など)、また時間芸術と空間芸術などに分けることがある。

創造

(1493頁)

そうぞう [創造] ①新たに造ること。新しいものを造りはじめる。②「一力」→模倣。③神が宇宙を造ること。「一者」「天地一説」

平和

(2302頁)

へいわ [平和] ①やすらかにやわらぐこと。おだやかで変りのないこと。「一な心」「一な家庭」②戦争がない世が安穏であること。

スポーツ

(1393頁)

スポーツ [sport(s)] 陸上競技・野球・テニス・水泳・ボート・レースなどから登山・狩猟などにいたるまで、遊戯・競争・肉体的鍛錬の要素をふくむ身体運動の総称。

交流

(889頁)

こうりゅう [交流] ①〔電〕(alternating current) 一定時間ごとに交互に逆向きに流れる電流。通常の動力源または電灯用には、東日本で周波数五〇ヘル、西日本で六〇ヘルの交流を用いる。略号AC。②ちがつた系統のものが互いに入りまじること。また、入りまじらせること。